

令和4年度各会計の決算をご審議いただくにあたり、各会計歳入歳出決算書並びに決算説明書、決算審査意見書等を提出したところではありますが、審査に先立ちまして、各会計決算の大綱をご説明申し上げます。

令和4年度の当初予算は、

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 一 般 会 計   | 2 1 2 億 1, 9 0 0 万円 |
| 特 別 会 計   | 9 6 億 2, 6 0 7 万円   |
| 下水道事業会計支出 | 2 4 億 9 1 万円        |
| 病院事業会計支出  | 7 9 億 7 5 9 万円      |

合わせて、4 1 1 億 5, 3 5 7 万円を計上したところではありますが、その後計上した補正予算と令和3年度からの繰越事業費繰越額を加えた最終予算額は、

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 一 般 会 計   | 2 4 2 億 1, 3 3 0 万円 |
| 特 別 会 計   | 1 0 0 億 6, 1 1 7 万円 |
| 下水道事業会計支出 | 2 4 億 5, 2 7 1 万円   |
| 病院事業会計支出  | 8 0 億 9, 4 0 5 万円   |

合わせて、4 4 8 億 2, 1 2 3 万円となったところであります。

令和4年度は、持続可能な財政基盤を築くために策定された「滝川市第2期財政健全化計画」を推進する3年目であり、将来都市像を実現するための事業の実施のほか、事務・事業の効率化を図り、市民の皆様とともに取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、市税の収入率向上やふるさと納税の積極的な推進により、財源の確保に努めました。

歳出においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をはじめとする国の補助金等を活用し、物価やエネルギー価格高騰の影響を特に受けている子育て世帯や非課税世帯に対する支援金給付事業、地域における消費喚起及び地域経済の下支え等を目的としたプレミアム商品券発行事業など、様々な施策を実施し、市民生活と地域経済の支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化を予防するため、引き続き新型コロナウイルスワクチン接種事業にも取り組んだところです。

以下、会計ごとに主な内容について申し上げます。

一般会計におきましては、歳入 2 4 0 億 9, 1 6 8 万円に対し、歳出 2 2 9 億 2, 3 2 1 万円で、差引 1 1 億 6, 8 4 7 万円の剰余を生じました。

歳入につきましては、収入済額と予算現額を比較しますと、1 億 2, 1 6 2 万円の減となっており、その主な内容は、

|          |     |                 |
|----------|-----|-----------------|
| 繰越金      | 2 億 | 7 1 3 万円        |
| 地方消費税交付金 | 1 億 | 8 1 8 万円        |
| 市税       | 9,  | 4 4 1 万円        |
| 地方交付税    | 3,  | 4 5 3 万円        |
| 法人事業税交付金 | 1,  | 4 7 6 万円 の増となり、 |

|       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 国庫支出金 | 4 億 2, | 3 3 4 万円 |
| 市債    | 5,     | 1 5 0 万円 |
| 諸収入   | 3,     | 7 8 5 万円 |
| 繰入金   | 3,     | 3 5 4 万円 |

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 使用料及び手数料  | 2, 0 8 1 万円          |
| 寄附金       | 1, 1 9 0 万円 の減となったこと |
| などによりますが、 |                      |

令和５年度に歳入されるべき繰越明許費に係る歳入予算額が、国庫支出金で 5, 6 9 5 万円、地方債 1, 5 6 0 万円、事故繰越しに係る歳入予算額が地方債で 1, 3 1 0 万円、計 8, 5 6 5 万円計上されておりますことから、歳入は実質的に 3, 5 9 7 万円の減となったところです。

一方、歳出におきましても、予算現額と支出済額を比較しますと、1 2 億 9, 0 1 0 万円の減となっておりますが、道営土地改良事業負担金など繰越明許費として令和５年度に繰越して歳出することを決定した予算額が 7, 2 5 8 万円、滝川西高等学校体育館改修工事など事故繰越しを行った予算額が 1, 9 0 0 万円計上されておりますことから、実質的には 1 1 億 9, 8 5 2 万円の減となりました。

歳入のうち、市税、使用料及び手数料、財産収入などの自主財源は全体の 3 7. 3 %、地方交付税、国・道支出金、市債などの依存財源は 6 2. 7 % となっております。

自主財源の内訳といたしましては、

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 市税       | 4 3 億 7, 0 1 8 万円 |
| 寄附金      | 1 7 億 5, 6 0 5 万円 |
| 諸収入      | 1 1 億 9, 1 4 6 万円 |
| 繰越金      | 1 0 億 2 3 万円      |
| 使用料及び手数料 | 4 億 6 9 2 万円      |

|          |           |
|----------|-----------|
| 分担金及び負担金 | 1億3,591万円 |
|----------|-----------|

|     |         |
|-----|---------|
| 繰入金 | 7,962万円 |
|-----|---------|

|      |         |
|------|---------|
| 財産収入 | 3,785万円 |
|------|---------|

となり、

依存財源の内訳は、

|       |          |
|-------|----------|
| 地方交付税 | 74億698万円 |
|-------|----------|

|        |            |
|--------|------------|
| 国・道支出金 | 56億6,027万円 |
|--------|------------|

|          |            |
|----------|------------|
| 地方消費税交付金 | 10億5,067万円 |
|----------|------------|

|    |           |
|----|-----------|
| 市債 | 6億5,542万円 |
|----|-----------|

|     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| その他 | 3億4,012万円 | となっております。 |
|-----|-----------|-----------|

一方、歳出につきまして、性質別にみますと、

|      |            |
|------|------------|
| 補助費等 | 48億1,290万円 |
|------|------------|

|     |         |
|-----|---------|
| 扶助費 | 45億22万円 |
|-----|---------|

|     |            |
|-----|------------|
| 人件費 | 32億9,118万円 |
|-----|------------|

|     |            |
|-----|------------|
| 物件費 | 26億7,656万円 |
|-----|------------|

|     |            |
|-----|------------|
| 繰出金 | 19億7,915万円 |
|-----|------------|

|     |            |
|-----|------------|
| 公債費 | 15億6,141万円 |
|-----|------------|

|     |            |
|-----|------------|
| 積立金 | 11億9,624万円 |
|-----|------------|

|     |           |
|-----|-----------|
| 貸付金 | 8億7,665万円 |
|-----|-----------|

|       |           |
|-------|-----------|
| 建設事業費 | 8億6,231万円 |
|-------|-----------|

|       |           |
|-------|-----------|
| 維持補修費 | 8億5,274万円 |
|-------|-----------|

|     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| 出資金 | 3億1,385万円 | となっております。 |
|-----|-----------|-----------|

つぎに特別会計につきましては、特別会計全体として、歳入 9 億 9 千 4 百 18 万円に  
対し、歳出 9 億 3 千 6 百 9 万円で、差引 6 億 4 千 2 百 49 万円の剰余を生じました。

国民健康保険特別会計では、歳入決算額 4 億 5 千 6 百 45 万円、歳出決算額 4 億  
6 千 6 百 45 万円で歳入歳出同額となっており剰余金は発生しておりません。

歳入についてみますと、

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 道支出金     | 3 億 5 千 7 百 32 万円        |
| 国民健康保険税  | 6 億 9 百 8 万円             |
| 繰入金      | 4 億 1 千 2 百 2 万円         |
| 諸収入などその他 | 5 億 6 百 93 万円 となったところです。 |

一方、歳出についてみますと、

|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 保険給付費        | 3 億 3 千 7 百 03 万円     |
| 国民健康保険事業費納付金 | 1 億 0 千 2 百 91 万円     |
| 総務費          | 6 億 6 百 45 万円         |
| 保健事業費        | 4 億 8 百 81 万円         |
| 諸支出金などその他    | 5 億 1 千 76 万円 となりました。 |

公営住宅事業特別会計では、歳入決算額 6 億 1 千 3 百 81 万円、歳出決算額 5 億 8 千 81  
万円で差引 1 億 5 百 00 万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

|          |               |
|----------|---------------|
| 使用料及び手数料 | 3 億 2 千 06 万円 |
|----------|---------------|

|      |           |            |
|------|-----------|------------|
| 繰入金  | 1億2,484万円 |            |
| 繰越金  | 1億1,230万円 |            |
| 市債   | 4,860万円   |            |
| 財産収入 | 2,437万円   |            |
| 諸収入  | 164万円     | となったところです。 |

一方、歳出についてみますと、

|       |           |         |
|-------|-----------|---------|
| 住宅事業費 | 2億3,317万円 |         |
| 公債費   | 2億1,401万円 |         |
| 諸支出金  | 6,163万円   | となりました。 |

介護保険特別会計では、まず保険事業勘定で、歳入決算額39億8,022万円、歳出決算額34億8,596万円で差引4億9,426万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

|                 |           |            |
|-----------------|-----------|------------|
| 国庫支出金           | 9億2,620万円 |            |
| 支払基金交付金         | 8億7,752万円 |            |
| 介護保険料           | 7億3,914万円 |            |
| 繰入金             | 5億9,487万円 |            |
| 道支出金            | 5億384万円   |            |
| その他財産収入、繰越金、諸収入 | 3億3,865万円 | となったところです。 |

一方、歳出についてみますと、

|       |            |  |
|-------|------------|--|
| 保険給付費 | 29億6,050万円 |  |
|-------|------------|--|

|                   |           |       |         |
|-------------------|-----------|-------|---------|
| 地域支援事業費           | 3億        | 592万円 |         |
| 総務費               | 1億        | 694万円 |         |
| その他保健福祉事業費、基金積立金、 |           |       |         |
| 公債費、諸支出金          | 1億1,260万円 |       | となりました。 |

また、介護サービス事業勘定では、歳入決算額1億373万円、歳出決算額6,129万円で、差引4,244万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

|        |         |            |
|--------|---------|------------|
| サービス収入 | 6,589万円 |            |
| 繰越金    | 3,781万円 |            |
| 諸収入    | 3万円     | となったところです。 |

一方、歳出についてみますと、

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| サービス事業費 | 6,129万円 | となりました。 |
|---------|---------|---------|

後期高齢者医療特別会計では歳入決算額6億8,496万円、歳出決算額6億8,418万円で差引78万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

|              |           |            |
|--------------|-----------|------------|
| 後期高齢者医療保険料   | 4億7,114万円 |            |
| 繰入金          | 2億1,179万円 |            |
| 繰越金          | 104万円     |            |
| 広域連合支出金などその他 | 99万円      | となったところです。 |

一方、歳出についてみますと、

|                |                 |         |
|----------------|-----------------|---------|
| 後期高齢者医療広域連合納付金 | 6 億 6, 3 6 1 万円 |         |
| 保健事業費          | 1, 0 3 1 万円     |         |
| 総務費などその他       | 1, 0 2 6 万円     | となりました。 |

つぎに企業会計について申し上げます。

下水道事業会計の収益的収支では、事業収益 1 2 億 5, 7 5 8 万円に対し、事業費用 1 1 億 9, 6 4 1 万円で、6, 1 1 7 万円の純利益となりました。

また、資本的収支では、収入 5 億 3, 6 9 4 万円に対し、支出 9 億 9, 6 1 5 万円で、差引不足額 4 億 5, 9 2 1 万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支では、事業収益 8 2 億 1, 5 6 2 万円に対し、事業費用は 7 1 億 2, 3 0 4 万円となり、1 0 億 9, 2 5 8 万円の純利益となりました。

また、資本的収支では、収入 2 億 8, 6 3 2 万円に対し、支出 7 億 1, 1 5 2 万円で、差引不足額 4 億 2, 5 2 0 万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

以上、各会計の決算の内容についてご説明申し上げます。

令和 4 年度決算に基づく健全化判断比率については、今議会において、報告第 1 号、報告第 2 号として健全化判断比率及び資金不足比率の報告を行ったところでありますが、いずれの指標についても健全段階であります。



令和４年度は、ふるさと納税の推進や事務・事業の効率化等により１１億円以上の基金積立を行うことが出来ましたが、老朽化した公共施設の再編など解決すべき課題が山積しているため、今後も一層財政の健全化を進め、その状況について透明性をもってお知らせしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

令和４年度各会計の決算の詳細につきましては、事前配布させていただきました、款別説明概要にてお示ししておりますので、よろしくご審議をいただき、ご認定いただきますようお願い申し上げます。